

令和3年度事業計画（案）

事業所名 (事業名)	幼保連携型認定こども園 みはた虹の丘こども園 (こども園事業・延長保育事業・一時預かり事業・マイ保育ステーション事業)
---------------	--

1. 基本方針

<p>① 子どもが心身ともに健やかに豊かな生活を送り、生きる喜びと力を育む幼児教育・保育を行います。</p> <p>② 子どもと保護者のおかれた状況を受けとめ、寄り添い子育ての良き伴走者となります。</p> <p>③ 地域の人々や関係機関と連携を図りながら、こども園の役割を構築します。</p> <p>④ 職員は、常に保育とは何かを考え、子どもの発達を学び、各種の専門性を尊重し、チームで幼児教育・保育します。</p>
---

2. 重点目標

<p>① 自ら学び考え、幼児教育・保育の質を向上するような体制や仕組みを作り、幼児教育・保育の充実を図る。</p> <p>② 職員自ら『気づく・考える・やってみる』のアンテナを高め行動する。</p> <p>③ 子どもの育ちを共に喜び合えるような環境を設定する。</p> <p>④ 地域の動向を見据え、地域に根差した機能や役割を作り、安定的な経営を考える。</p>
---

3. 利用実績

こども園(保育所)事業	前年度当初	今年度期首	今年度期末	備考
利用者定員	150	150	150	
利用者実数	136	135	152	
稼働率(目標)	90.7%	90%	101.3%	

4. 行動計画

NO	重点目標との連動	取り組み事項	行動計画(方法・時期・頻度・数値目標)	新規/継続	担当
①	活気に満ちた集団の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>理念に基づいた行動指針を定着させ、自分たちで創り出す楽しさを実感する</li> <li>保育の質の向上を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ONE TEAM(異年齢保育・保育研究・HKIPJ・文化・生きる)での年間計画を立て企画や改革を行い、保育の実践を深める。</li> <li>日々子どもたちの素敵な発見をミーティングで共有する。</li> <li>保育の展開のアイデアを出し合う場を作る。 毎日16:30~17:00 ミーティング</li> <li>カリキュラム研究・保育内容研究等を通して、実践を深める。</li> </ul>	<p>継続</p> <p>継続</p> <p>継続</p> <p>継続</p>	<p>園長 主任 全職員</p> <p>主任 全職員</p> <p>主任 全職員</p> <p>主任 全職員</p>

			人生会議：第2・3火曜 13：30～		
② ④	魅力のある保育内容 時代や地域にあった取り組み	・園の独自性を 出す ・地域の子育て 支援の在り方 を検討する	・環境設定（モノづくり） 環境研修（年間2回） 講師：井上寿氏 ・らるらりで一（異年齢保育）の実践 異年齢保育会議：第1火曜 13：30～ ・行事の目的と内容の検討 文化会議：第2火曜 9：00～10：00 ・広報ブログの充実 PJ会議：第3火曜 10：00～11：00 ・特別事業の企画立案	継続  継続  新規  継続  新規	園長 主任  担当  担当  担当  園長
③	認め合う 人間関係 考えや思 いのキャ ッチボー ルができ る仲間	・会議、PJで の実践 ・組織における 個々の役割を 明確にする ・グループや担 当での考えや 思いを出す機 会を持つ。	・ONE TEAM（異年齢保育・保育研究・ HKIPJ・文化・生きる）で考えを出し合 い、企画や改革を行い、実践につなげ ていく。 ・職員一人一人の役割を明確にし、立ち 返るべきところを定義して、個々の存 在価値を明文化し、振り返るようにす る。 ・園だよりやブログ等での「園長コラム」 の掲載	継続  継続  継続	園長 全職員  園長 全職員  園長

※ 事業所単位でまとめること。本フォーマットをベースとし必要な場合は枠幅を変更して使用のこと。